

九州電力から今冬における節電のお願い

日頃より、節電にご協力いただき大変ありがとうございます。

当社は、現在、すべての原子力発電所が運転を停止しており、今冬の電力安定供給のため最大限の努力を行っておりますが、発電設備の計画外停止等を踏まえると、依然として電力需給は厳しい見通しです。

このため、お客さまには、ご不便とご迷惑をお掛けし誠に申し訳ございませんが、今冬におきましても下記のとおりの節電にご協力をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

■12月3日（月）～3月29日（金）の平日^{（注）} 8時～21時について、お客さまの生活・健康や経済活動に支障のない範囲で、昨年冬にお取り組みいただいた相当の節電に、ご協力をお願いします。

（注）年末年始 12月31日（月）～1月4日（金）を除く

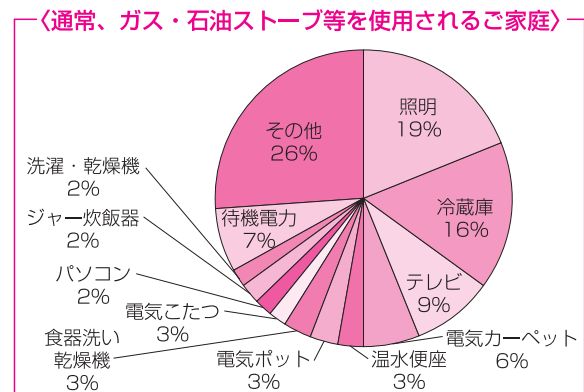
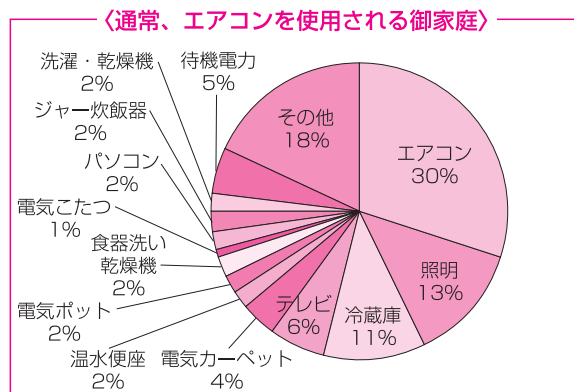
❗️エアコン・電気カーペット・電気こたつ等の控え過ぎによる体調不良に気をつけて無理のない範囲で節電をお願いします。

❗️特に、高齢者、乳幼児、ご病気の方がいらっしゃるご家庭においては、充分にお気をつけください。

❗️節電を意識しすぎるあまり、衛生面及び安全面で不適切なものにならないようご注意ください。

九州電力株式会社

■ご家庭における冬の夕方（19時頃）の消費電力（例）



【出典：資源エネルギー庁推計】

■ご家庭には、他にも消費電力が大きい電気製品があります。

これらの電気製品は、平日の節電をお願いする時間帯では使用が重ならないよう工夫していただくなどご協力をお願いします。

・電気ストーブ ・電子レンジ ・ホットプレート ・トースター ・IHクッキングヒーター ・ドライヤー ・掃除機 ・アイロン 等

次のような節電の取り組みがおすすめです 【お願いしたい事例】

		節電効果（削減率）	
		通常、エアコンを使用されるご家庭	通常、ガス・石油ストーブ等を使用されるご家庭
エアコン	○重ね着などをして、室温20℃を心がける。	7% ※設定温度を2℃下げた場合	—
	○窓には厚手のカーテンを掛ける。	1%	—
照明	○不要な照明をできるだけ消す。	4%	6%
テレビ	○画面の輝度を下げる。 ○必要な時以外は消す。	2% ※標準→省エネモードに設定し、使用時間を2/3に減らした場合	3%
冷蔵庫	○冷蔵庫の設定を「弱」に変える。 ○扉を開ける時間をできるだけ減らす。 ○食品をつめこまないようにする。	1%	2%
ジャー炊飯器	○早朝にタイマー機能で1日分をまとめて炊く。 ○保温機能は使用せずに、よく冷ましてから冷蔵庫に保存する。	1%	2%
温水洗浄便座	○便座保温・温水の温度設定を下げる。 ○不使用時はふたを閉める。	1%未満	1%
待機電力	○リモコンではなく、本体の主電源を切る。 ○使わない機器はプラグを抜いておく。	1%	2%

●節電効果の削減率の目安は、エアコンを使用されるご家庭の夕方ピーク時の消費電力（約1400W）、および、ガス・石油ストーブ等を使用されるご家庭の夕方ピーク時の消費電力（約1000W）に対する削減率の目安です（資源エネルギー庁推計）。

●上記取り組み事例と削減率については、平成24年11月経済産業省作成「冬期の節電メニュー（ご家庭の皆様）」から抜粋しています。

以下の取り組みも節電に効果がありますので、あわせてお願いいたします

【お願いしたい事例】

ライフスタイル	 ○夕方に電気製品の使用が重ならないよう家事の段取りを組む。 家庭の電力需要が増える夕方以降に、一斉に負荷の高い電気製品を使用することがないように、一日の家事の段取りをお願い致します。 ○温湿度計をつけて、室温の管理（20℃）を行う。
エアコン	 ○電気の暖房機器（ガス・石油以外）を使う場合には、エアコンと電気ストーブ・ヒーターを上手に使い分ける。 （例）・家族4人そろった広い部屋でみんなが暖まる場合には、電気ストーブよりエアコンが効率的。 ・広い部屋で1人暖まるには、エアコンより電気ストーブが効率的。 ○エアコンのフィルターを定期的（2週間に1回程度）に掃除する。 ○扇風機やサーキュレーターで部屋の上部の暖気を循環させる。
暖房機器	 ○電気カーペットは人のいる部分だけを暖める。 ○設定温度を「中」または「弱」にするよう心がける。
こたつ	 ○こたつは、上掛けなどを活用し、暖気を逃がさないようにする。
洗濯機	 ○容量の80%程度を目安にまとめ洗いをする。
パソコン	 ○省電力設定を活用する。
掃除機	 ○夕方のピーク時はモップやホウキを使用する。

お客様の生活・健康や経済活動に支障のない範囲で昨年冬にお取り組みいただいた相当の節電にご協力をお願いします。

■節電のため、ガス・石油ストーブ等を使用される場合には、以下のことにご注意ください。

ガスや石油を使うときは、窓を開けるなどして

必ず換気

※自動的に排気する機器は、ファンの作動音を確認。

物が燃えるには、新鮮な空気が必要です。

空気が不足すると、一酸化炭素が発生します。

洗濯物や布団などは、ストーブの

近くに置かない

洗濯ばさみ等で留めたつもりでも、落下の危険性があります。

「でんき予報」（当社における電力のご使用状況）の掲載

- お客様の節電への取り組みをサポートするため、当社ホームページにて需給状況をお知らせします。
- 夏季に実施した「日々の需給状況」に加え、「週間の需給見通し」（週間でんき予報）を掲載します。

「緊急時の節電ご協力お願いメール」登録のお願い

- 「でんき予報」において、需給状況が大変厳しくなると予想される場合に、需給見通しと節電ご協力のお願いを、予めご登録頂いた携帯電話へメールでお知らせします。ぜひ、ご登録いただきますようお願いいたします。

九州電力

検索

www.kyuden.co.jp



当社ホームページでは「でんき予報」のほか「節電の事例と効果」もご覧いただけます。
ご不明な点は最寄りの営業所へお問い合わせください。